

〔様式2〕

令和5年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

東京都北区立王子第五小学校

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>おおよその内容で、目標値を上回っている。特に「かん字をよむ」については、区の平均正答率を5.1ポイント上回っている。一方で、「せつめい文をよみとる」は1ポイント下回り、「ぶんしょうを書く」は1.7ポイント下回っている。</p>	<p>全ての観点において、目標値を上回っている。特に、「知識・技能」に関しては、88%で目標値を6ポイント以上上回っている。</p>	<p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、目標値を上回っていることから、「かん字をよむ」「かん字をかく」については、全体的に定着している。一方で、「文しょうを書く」では正答率が68%と低い。無解答率が高く、文章を書くことに課題をもつ児童が多く見られる。</p>
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>全ての内容においても、目標値を上回っている。特に「えをつかったグラフ」については区の平均正答率を1.2ポイント上回っている。だが、「かたち」は2.9ポイント下回り、「ひきざん」は2.1ポイント下回り、「とけい」は3.5ポイント下回っている。</p>	<p>全ての観点において、目標値を上回っている。「知識・技能」では4.6ポイント上回り、「思考・判断・表現」では3.4ポイント上回り、2.7ポイント上回っている。</p>	<p>「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」については、目標値を上回っている。問題内容別正答率の中では「とけい」が目標値と同じ数値であり時刻や時間の理解が不十分である。また、示された減法の式から適切な場面を考えることに課題が見られた。</p>

〔様式2〕

令和5年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>全ての内容において、目標値を上回っている。区の平均正答率と比べると、お話を書く、文章を書く以外の項目は、上回っている。特に「言葉の学習」と「物語を読む」については、目標値を10ポイント以上、上回っている。「お話を書く」は、目標値を10ポイント以上、上回っているが、区の平均正答率と比べると4ポイントほど下回っている。文章を書くについては、目標値は上回っているものの、他の内容と比べて58ポイントと低めである。</p>	<p>「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点において、目標値や区の平均正答率を上回っている。「主体的に取り組む態度」については目標値を意上回っているが、区の平均正答率と比べると3ポイント下回っている。</p>	<p>「主体的に取り組む態度」のポイントが区の平均を下回り、低めであるのは、「文章を書く」「お話を書く」の内容のポイントが低いところと関連している。自分の思いや考えが伝わるように語と語や文と文の続き方に注意しながら文章を書くことについては課題である。</p>
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>全ての内容において、区の平均正答率を大きく上回り、目標値においては、全ての内容において10ポイント以上上回っている内容が多くある。特に「ひょうやグラフ」については正答率が95%と高い。</p>	<p>全ての観点において、目標値や区の平均正答率を上回っている。目標値については、全ての観点において10～15ポイント上回っている。特に「思考・判断・表現」の観点で15ポイント目標値を上回っていて高いと言える。</p>	<p>「三角形と四角形」の記述問題や「たし算・ひき算」短答問題において、目標値と比べると15～20ポイントも高いため、「思考・判断・表現」が高くなっていると考えられる。内容については、「三角形と四角形」が他の内容と比べるとポイントが低い。</p>

[様式2]

令和5年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
問題の内容別の正答率では、どの項目においても区の平均を上回っている。特に「話し合いの内容を聞き取る」「漢字を書く」の2項目においては、それぞれ区の平均を10ポイント上回っており、よく理解していると言える。「調べたことをもとに文章を書く」項目については区の平均とほぼ同程度となっている。	全ての観点において目標値、区の平均を上回っている。「知識・技能」は目標値を13ポイント、区の平均を7ポイント、「思考・判断・表現」は目標値を約10ポイント、区の平均を5ポイント上回る正答率であった。その中では「主体的に学習に取り組む態度」の項目が、目標値を4.5ポイント、区の平均を約1ポイント上回るにとどまっていた。	基礎的内容の正答率が87%と、目標値より7ポイント高い。活用の力においては正答率が71%ではあるが、目標値より13ポイントと大きく上回っている。様々な項目において学習能力の高さがうかがえるが、その中でも基礎的な学習の能力を生かし、活用の力をより伸ばしていけるように今後の授業改善を図る。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
問題の内容別の正答率では、どの項目においても区の平均を上回っている。特に「わり算」「口を使った式」の2項目においては、それぞれ区の平均を10ポイント以上上回っており、よく理解していると言える。他の項目においてもほとんど区の平均を5ポイントから10ポイント上回っているが、「時刻と時間」「表とぼうグラフ」は区の平均とほぼ同程度となっている。	全ての観点において目標値、区の平均正答率を大きく上回っている。「知識・技能」の観点が目標値を12ポイント、「思考・判断・表現」の観点が目標値を約24ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」で約11ポイント上回る正答率であった。	「時刻と時間」「表とぼうグラフ」の内容では、若干の課題が見られるが、基礎的内容の正答率は89%と、目標値より13ポイント高い。また、活用の力においては正答率が76%ではあるが、目標値より18ポイントと大きく上回っている。基礎的な力を生かす活用の力においても優れていると言える。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
問題の内容別の正答率では、どの項目においても区の平均を上回っている。特に「植物の育ち方」「こん虫の育ち方」「光のせいしつ」など5項目において、区の平均を10ポイント以上上回っており、よく理解していると言える。他の項目においてもほとんど区の平均を5ポイントから10ポイント上回っているが、「電気の通り道」「音のせいしつは目標値と同じポイントとなっており、今後の課題と言える。	全ての観点において目標値、区の平均正答率を大きく上回っている。「知識・技能」の観点が目標値を12ポイント、「思考・判断・表現」の観点が目標値を約11ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」で約12ポイント上回る正答率であった。	基礎的内容の正答率が79%と、目標値より14ポイント高いが、活用の力においては正答率が56%と目標値と5ポイントほど上回るにとどまっている。電気や音といった科学的思考における課題を中心に授業改善を図り、活用の力を高めていく。

[様式2]

令和5年度 第5学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全体的に目標値や区の平均正答率を上回る結果となった。「漢字を読む」では、100%の正答率であった。「漢字を書く」「文章を書く」といった内容は、区の目標値を20ポイント以上上回った。しかし、「言葉の学習」の内容では、区の目標値はやや上回っているものの、他の内容に比べて差は小さかった。	3つの観点別正答率については、全区の目標値や平均値を上回る結果となった。中でも、「知識・技能」については、区の平均正答率及び、目標値を20ポイント以上上回る結果となった。さらに「思考・判断・表現」については、区の正答率を15ポイント近く上回っている。	知識・技能の正答率が高く、内容別に見ても、言語事項や聞き取り、読み取りが高いことから、基本的な知識・技能面は定着していると言える。一方で、記述問題の正答率が低く、自分の思いや考えを書くことへの苦手意識の克服が今後の課題である。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全体的に目標値や区の平均正答率を上回る結果となった。「都道府県の様子」「ごみのしよりと利用」「特色ある地域の様子」では、区の目標値や平均値を15ポイント以上を上回る結果であった。	3つの観点別正答率については、全区の目標値や平均値を12ポイント以上上回る結果となった。しかし、「主体的に学習に取り組む態度」においては、他の二つの観点と比べて、正答率が低かった。	知識・技能の正答率が高い。内容別に見ても、「自然災害からくらしを守る」は約90%で、基本的な知識・技能面は定着していると言える。一方で、記述問題の正答率が低く、自分の思いや考えを表現することへの苦手意識の克服が今後の課題である。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全体的に目標値や区の平均正答率を上回る結果となった。「億と兆・概数の表し方」「わり算・計算のきまり」「変わり方調べ」「簡単な場合についての割合」といった内容は、区の目標値を20ポイント以上上回った。「面積」「折れ線グラフと表」では、区の目標値や平均値を15ポイント以上を上回る結果であった。	3つの観点別正答率については、全区の目標値や平均値を上回る結果となった。中でも、3観点とも、区の平均正答率及び、目標値を18ポイント近く上回る結果となった。	知識・技能の正答率が高い。内容別に見ても、「簡単な場合についての割合」と「変わり方調べ」は約90%以上で、基本的な知識・技能面は定着していると言える。また、前年度に比べ思考・判断・表現の正答率が70%台と高くなり、答えを求めるだけでなく、その答えを導くことができた理由を考えさせ、説明する場を設けるといった指導が上手いといったと思われる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全体的に目標値や区の平均正答率を上回る結果となった。「水のすがた」では、区の目標値や平均値を20ポイント以上を上回る結果であった。	3つの観点別正答率については、全区の目標値や平均値を上回る結果となった。中でも、「知識・技能」については、区の平均正答率及び、目標値を10ポイント程上回る結果となった。	知識・技能の正答率が高い。内容別に見ても、「1年間の植物の成長」は約90%以上で、基本的な知識・技能面は定着していると言える。一方で、「水のすがた」での記述問題の正答率が低い値であった。この単元での「考察する」「まとめる」段階における指導の工夫が必要であると考えられる。

[様式2]

令和5年度 第6学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析

<p>全ての内容項目について、区や全国の平均正答率を上回る結果となった。特に「言葉の学習」「調べたことをもとにポスターを書く」「文章を書く」項目については、全国の平均率を15ポイント近く上回る結果であった。</p>	<p>3観点ともに区や全国の平均正答率、目標値を大きく上回る結果となった。それぞれ目標値を10ポイント以上上回った。特に「知識・技能」に関しては目標値を16.5ポイント上回り、授業改善の一定の成果を認めることができる。</p>	<p>すべての領域について区や全国の平均正答率、目標値を上回った。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する次項」の領域については、区や全国の平均正答率を大きく上回る結果であった。ただ、記述の問題では、無解答率が約6%いるので、文章を書くことに苦手意識をもつ児童が一定数見られ、課題が残る。</p>
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>全ての内容項目について、区や全国の平均正答率を上回る結果となった。特に、「日本の食料生産」「日本の工業生産」「自然環境と国民生活」では、区や全国の平均率を10ポイント以上上回った。</p>	<p>3観点ともに区や全国の平均正答率、目標値を上回る結果となった。特に「知識・技能」では、全国の平均正答率を10ポイント以上上回った。社会科の見方・考え方を働かせる授業改善の成果が表れたと捉えることができる。</p>	<p>領域別の正答率では、全ての項目で区や全国の平均正答率を上回った。中でも「国土の自然環境と国民生活」では、全国の平均正答率を15ポイント以上上回る結果となった。ただ、「品種改良」や「中小工場」など、社会科用語を問う問題で無回答者が少数いるので、知識の定着に課題が残った。</p>

算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>全ての内容項目について、区や全国の平均正答率を上回る結果となった。特に「整数のなかま分け」「分数と小数」「分数・小数の計算」「面積」「立体の体積」「比例・単位量当たりの大きさ」「割合」では、それぞれ区や全国の平均率を10ポイント以上上回った。</p>	<p>3観点ともに区や全国の平均正答率、目標値を上回る結果となった。特に「主体的に学習に取り組む態度」に関しては区や全国の平均正答率を11.7ポイント上回り、数学的な見方や考え方を働かせるための授業改善の一定の成果を認めることができる。</p>	<p>4領域の平均正答率は、全て区や全国の平均正答率を上回る結果となった。特に「数と計算」「変化と関係」では全国の平均正答率を15ポイント以上上回った。記述の問題では、目標値や全国正答率で上回ったものの、正答率が50%以下で低い。記述式の問題に課題が残った。</p>
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>全ての内容項目について、区や全国の平均正答率を上回る結果となった。特に「天気の変化」「植物の発芽と成長」「植物の花のつくりと実」「流れる水のはたらき」「ふりこのきまり」「電流のはたらき」「けんび鏡の使い方」では、それぞれ区や全国の平均率を10ポイント以上上回った。</p>	<p>3観点ともに区や全国の平均正答率、目標値を大きく上回る結果となった。「主体的に学習に取り組む態度」では区の平均正答率を17.6ポイント近く上回った。科学的な見方・考え方を働かせる授業改善の成果が表れたと捉えることができる。</p>	<p>領域別正答率では、「物質・エネルギー」「生命・地球」の領域で、区や全国の平均正答率、目標値を10ポイント以上上回った。記述の問題では、目標値や全国正答率で上回ったものの、無回答が一定数いる。記述式の問題に課題が残った。</p>